

様式 1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道3号 折尾遠賀拡幅
事業主体	九州地方整備局

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更)	指標チェックの根拠	
1. 活力	円滑なモビリティの確保	● 現道等の年間渋滞損失時間(人・時間)及び削減率	区間b(当該区間/平行区間)について:(国道3号及び県道岡垣遠賀線) 並行区間等(当該区間)の渋滞損失時間:395万人・時間/年 並行区間等(当該区間)の渋滞損失削減率:7割削減
		○ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満であった区間の旅行速度の改善状況	
		○ 現道又は並行区間等における踏切道の除去もしくは交通改善の状況	
		● 当該路線の整備によるバス路線の利便性向上の状況	県道岡垣遠賀線のバス路線(西鉄バス等)の交通量減少による定時性向上
		○ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上の状況	
		○ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上の状況	
	物流効率化の支援	● 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上の状況	福岡方面より北九州港(小倉、ひびきコンテナターミナル)へのアクセス改善。 H13の拡幅区間(L=2.8km)の整備効果として約6分短縮。
		○ 農林水産業を主体とする地域における農林水産品の流通の利便性向上の状況	
		□ 現道等における総重量25tの車両もしくは180規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間が解消	
	都市の再生	○ 都市再生プロジェクトの支援に関する効果	
		○ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路が形成(又は一部形成)されたことによる効果	
		○ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携に関する効果	
		○ 中心市街地内で行われたことによる効果	
		□ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km ² 以下である市街地内での事業である	
		□ DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上	
		□ 対象区間が事業実施前に連絡道路がなかった住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となった	

政策目標		指 標 （対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を●に変更）	指標チェックの根拠
1. 活力	国土・地域ネットワークの構築	<input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道（A'路線）としての位置づけあり	
		<input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり	
		<input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
		<input type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
		<input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間が解消	
		<input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上の状況	岡垣町→北九州市（黒崎副都心）間のアクセス時間の短縮。 H13拡幅区間（L=2.8km）の時間短縮効果約6分。
	個性ある地域の形成	<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されていた地区の一体的発展への寄与の状況	
		<input checked="" type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントの支援に関する効果	北九州学術研究都市整備事業（第1期；H7～H17、第2期；H14～H21）へのアクセス向上
		<input type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上による効果	
		<input type="checkbox"/> 特別立法に基づく事業としての効果	
		<input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設と直結されたことによる効果	
	<input type="checkbox"/> 歴史的景観を活用した道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業としての効果		
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	<input type="checkbox"/> 自転車利用空間が整備されたことによる当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性向上の状況	
		<input type="checkbox"/> 交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化された	
	無電柱化による美しい町並みの形成	<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヵ年計画に位置づけあり	
		<input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）等の幹線道路において新たに無電柱化を達成	
	安全で安心できるくらしの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上の状況	北九州市立八幡病院（3次医療） H13拡幅区間（L=2.8km）の効果 対岡垣町 47分→41分 〔新水巻病院（高次医療可能） H13拡幅区間（L=2.8km）の効果 対岡垣町 17分→11分〕

政策目標	指 標 （対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更）	指標チェックの根拠	
3. 安全	安全な生活環境の確保	○ 現道等における交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等による安全性向上の状況	
		○ 歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置されたことによる安全性向上の状況	
	災害への備え	□ 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落が解消	
		対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に ■ 位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヵ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路という」）として位置づけあり	一般国道3号は緊急輸送道路網（一次ネットワーク）として位置づけられている
		□ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成	
		□ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能	
		□ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消	
		□ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間が解消	
		□ 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加	
地球環境の保全	● 対象道路の整備により、削減される自動車からのCO ₂ 排出量	CO ₂ 排出削減量：9,800t-CO ₂ /年	
4. 環境	生活環境の改善・保全	● 現道等における自動車からのNO ₂ 排出削減率	（推計結果） 評価対象区間（現道／平行区間等）：（一般国道3号、岡垣遠賀線などB/C評価対象路線） 排出削減量：43.8t/年
		● 現道等における自動車からのSPM排出削減率	（推計結果） 評価対象区間（現道／平行区間等）：（一般国道3号、岡垣遠賀線などB/C評価対象路線） 排出削減量：4.0t/年
		○ 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過していた区間の騒音レベルの改善の状況	
		○ その他、環境や景観上の効果	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	□ 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	
	その他	○ 関連する大規模道路事業との一体的整備の必要性または一体的整備による効果	
		○ 他機関との連携プログラムに関する効果	
		○ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果	

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BPの別
一般国道3号	折尾遠賀拡幅	6.4km	2次改築	現拡

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
47,100	4	九州地方整備局

① 費用

	改築費	維持修繕費	合計
基準年	平成18年		
単純合計	194億円	67億円	261億円
基準年における 現在価値 (C)	449億円	117億円	565億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行費用 短縮便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成18年			
供用年	昭和50年			
単年便益 (初年便益)	21億円	1億円	1億円	23億円
基準年における 現在価値 (B)	4,049億円	176億円	127億円	4,352億円

③ 結果

費用便益比 (B/C)	7.7
-------------	-----

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

交通状況の変化

事業名：折尾遠賀拡幅

(推計時点 H11年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [バイパス等] : 6.4km	交通量	[台/日]	22,300	46,100	
	走行時間	[分]	6	11	
	走行時間費用	[億円/年]	82	128	
②主な周辺道路	県) 岡垣 遠賀線 : 3.5km	交通量	[台/日]	39,200	12,900
		走行時間	[分]	12	6
		走行時間費用	[億円/年]	127	19
	国道495号 : 7.3km	交通量	[台/日]	28,000	26,000
		走行時間	[分]	12	12
		走行時間費用	[億円/年]	88	81
	主) 北九州 芦屋線 : 12.2km	交通量	[台/日]	13,800	12,800
		走行時間	[分]	18	18
		走行時間費用	[億円/年]	62	58
	県) 黒山 広渡線 : 2.9km	交通量	[台/日]	8,500	6,600
		走行時間	[分]	4	4
		走行時間費用	[億円/年]	9	7
③その他道路合計 : 5384.9km	走行時間費用	[億円/年]	30,438	30,432	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 5417.3km	走行時間短縮便益	[億円/年]	30,807	30,726	82

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

※1 : 交通量については、当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2 : 走行時間については、配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3 : 走行時間費用については、費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4 : 主な周辺道路については、当該事業により大きな変化が生じる道路について3~5路線程度以内で記載する。



費用便益分析の条件

事業名： 折尾遠賀拡幅

(2)

項目		チェック欄		
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成15年8月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他	<input type="checkbox"/>		
分析の基本的事項	分析対象期間	40年間		
	社会的割引率	4%		
	基準年次	平成18年		
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> H11	
		複数時点での推計	<input type="checkbox"/>	
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
		整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H11センサス)	
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
		その他()	<input type="checkbox"/>	
	開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
		有	<input type="checkbox"/>	
		有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ()台トリップ/日	
	配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
		転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
		Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
		均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
		簡易手法	<input type="checkbox"/>	
		簡易手法の場合	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
			山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
	その他()		<input type="checkbox"/>	
その他()	<input type="checkbox"/>			
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線、等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。	<input checked="" type="checkbox"/>		
	最終配分の速度 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>		
	その他()	<input type="checkbox"/>		

費用の現在価値算定表

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:一般国道3号 折尾遠賀拡幅

採用単価の根拠 一般国道(直轄)		
単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)
0.27	6.4	1.73

年次	年度	割引率	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
			単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-7年目	S 43	4.4388	1	3		
-6年目	S 44	4.2681	1	2		
-5年目	S 45	4.1039	2	9		
-4年目	S 46	3.9461	10	40		
-3年目	S 47	3.7943	20	77		
-2年目	S 48	3.6484	18	67		
-1年目	S 49	3.5081	8	28		
供用開始年次	S 50	3.3731	4	14	2	6
1年目	S 51	3.2434	5	15	2	6
2年目	S 52	3.1187	3	11	2	5
3年目	S 53	2.9987	5	15	2	5
4年目	S 54	2.8834	4	12	2	5
5年目	S 55	2.7725	0	0	2	5
6年目	S 56	2.6658	0	0	2	5
7年目	S 57	2.5633	0	0	2	4
8年目	S 58	2.4647	0	0	2	4
9年目	S 59	2.3699	0	0	2	4
10年目	S 60	2.2788	1	2	2	4
11年目	S 61	2.1911	2	4	2	4
12年目	S 62	2.1068	0	0	2	4
13年目	S 63	2.0258	1	2	2	3
14年目	H 1	1.9479	2	3	2	3
15年目	H 2	1.8730	1	1	2	3
16年目	H 3	1.8009	0	0	2	3
17年目	H 4	1.7317	2	3	2	3
18年目	H 5	1.6651	7	12	2	3
19年目	H 6	1.6010	4	7	2	3
20年目	H 7	1.5395	7	10	2	3
21年目	H 8	1.4802	8	12	2	2
22年目	H 9	1.4233	5	7	2	2
23年目	H 10	1.3686	30	41	2	2
24年目	H 11	1.3159	18	23	2	2
25年目	H 12	1.2653	19	24	2	2
26年目	H 13	1.2167	8	9	2	2
27年目	H 14	1.1699	0	0	2	2
28年目	H 15	1.1249	0	0	2	2
29年目	H 16	1.0816	0	0	2	2
30年目	H 17	1.0400	0	0	2	2
31年目	H 18	1.0000	0	0	2	2
32年目	H 19	0.9615	0	0	2	2
33年目	H 20	0.9246	0	0	2	2
34年目	H 21	0.8890	0	0	2	1
35年目	H 22	0.8548	0	0	2	1
36年目	H 23	0.8219	0	0	2	1
37年目	H 24	0.7903	0	0	2	1
38年目	H 25	0.7599	0	0	2	1
39年目	H 26	0.7307	-7	-5	2	1
合計			187	449	67	117
単純事業費計			194		67	

注1)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

注2)維持修繕費は便益算出マニュアルの参考値を基本としている。

便益の現在価値算定表

箇所名：一般国道3号 折尾遠賀拡幅

年次	年度 (基準年)	総走行台キロの年次別伸び率 (北九州ブロック)			割引率 (A)	走行時間短縮便益(億円)						走行経費減少便益(億円)				事故減少便益(億円)		合計 (億円)			
		乗用車類	貨物車類	全車		乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	S 50	1.06885	1.06667	1.06791	3.3731	11	1	4	5	21	70	1	0	0	0	1	4	1	2	23	77
1年目	S 51	1.06442	1.06250	1.06359	3.2434	11	1	4	5	22	72	1	0	0	0	1	4	1	2	24	79
2年目	S 52	1.06052	1.05882	1.05979	3.1187	12	1	5	6	24	75	1	0	0	1	1	4	1	3	26	82
3年目	S 53	1.05707	1.05556	1.05641	2.9987	13	2	5	6	26	77	1	0	0	1	2	5	1	3	28	84
4年目	S 54	1.05398	1.05263	1.05340	2.8834	14	2	5	6	27	78	1	0	0	1	2	5	1	3	29	85
5年目	S 55	1.05122	1.05000	1.05069	2.7725	20	2	8	9	39	108	1	0	0	1	2	5	1	3	42	116
6年目	S 56	1.04872	1.04762	1.04825	2.6658	21	2	8	9	41	109	1	0	0	1	2	5	1	3	44	117
7年目	S 57	1.04646	1.04545	1.04603	2.5633	22	3	8	10	43	110	1	0	0	1	2	5	1	3	46	118
8年目	S 58	1.04440	1.04348	1.04400	2.4647	23	3	9	10	45	110	1	0	0	1	2	5	1	3	48	119
9年目	S 59	1.04251	1.04167	1.04215	2.3699	24	3	9	11	47	111	1	0	0	1	2	5	1	3	50	119
10年目	S 60	1.04078	1.04000	1.04044	2.2788	25	3	9	11	49	111	1	0	0	1	2	5	1	3	52	119
11年目	S 61	1.03918	1.03846	1.03887	2.1911	26	3	10	12	51	111	1	0	0	1	2	5	1	3	54	119
12年目	S 62	1.03770	1.03704	1.03742	2.1068	27	3	10	12	53	111	1	0	0	1	2	5	2	3	57	119
13年目	S 63	1.03633	1.03571	1.03607	2.0258	28	3	11	13	55	110	1	0	0	1	3	5	2	3	59	119
14年目	H 1	1.03506	1.03448	1.03481	1.9479	29	3	11	13	56	110	1	0	0	1	3	5	2	3	61	118
15年目	H 2	1.05242	1.01075	1.03456	1.8730	30	3	11	13	58	109	1	0	0	1	3	5	2	3	63	118
16年目	H 3	1.04981	1.01064	1.03341	1.8009	32	4	11	14	61	110	1	0	0	1	3	5	2	3	65	118
17年目	H 4	1.04745	1.01053	1.03233	1.7317	34	4	12	14	63	109	1	0	0	1	3	5	2	3	68	117
18年目	H 5	1.04530	1.01042	1.03132	1.6651	35	4	12	14	65	108	1	0	0	1	3	5	2	3	70	116
19年目	H 6	1.04892	0.98454	1.02364	1.6010	37	4	12	14	67	107	1	0	0	1	3	5	2	3	72	115
20年目	H 7	1.04664	0.98429	1.02309	1.5395	42	5	13	15	75	115	2	0	0	1	3	5	2	4	80	123
21年目	H 8	1.04456	0.98404	1.02257	1.4802	44	5	12	15	76	113	2	0	0	1	3	5	2	3	82	121
22年目	H 9	1.04266	0.98379	1.02207	1.4233	46	5	12	15	78	111	2	0	0	1	3	5	2	3	84	119
23年目	H 10	1.04091	0.98351	1.02159	1.3686	48	6	12	14	80	109	2	0	0	1	3	4	2	3	86	117
24年目	H 11	1.01340	0.99819	1.00847	1.3159	50	6	12	14	82	108	2	0	0	1	3	4	2	3	88	115
25年目	H 12	1.01322	0.99819	1.00840	1.2653	51	6	12	14	83	104	2	0	0	1	3	4	3	3	88	112
26年目	H 13	1.01305	0.99819	1.00833	1.2167	60	7	14	17	98	119	2	0	0	1	4	4	3	4	105	128
27年目	H 14	1.01288	0.99818	1.00826	1.1699	61	7	14	17	99	116	2	0	0	1	4	4	3	4	106	124
28年目	H 15	1.01272	0.99818	1.00820	1.1249	62	7	14	17	100	112	2	0	0	1	4	4	3	4	107	120
29年目	H 16	1.01256	0.99818	1.00813	1.0816	63	7	14	17	101	109	2	0	0	1	4	4	3	4	108	116
30年目	H 17	1.01240	0.99817	1.00806	1.0400	64	7	14	17	101	105	2	0	0	1	4	4	3	4	109	113
31年目	H 18	1.01225	0.99817	1.00800	1.0000	64	7	14	16	102	102	2	0	0	1	4	4	3	3	109	109
32年目	H 19	1.01210	0.99817	1.00794	0.9615	65	8	14	16	103	99	2	0	0	1	4	4	3	3	110	106
33年目	H 20	1.01196	0.99816	1.00787	0.9246	66	8	14	16	104	96	2	0	0	1	4	4	4	3	111	103
34年目	H 21	1.01182	0.99816	1.00781	0.8890	67	8	14	16	105	93	2	0	0	1	4	3	4	3	112	100
35年目	H 22	1.00781	0.99865	1.00515	0.8548	68	8	14	16	105	90	2	0	0	1	4	3	4	3	113	97
36年目	H 23	1.00775	0.99865	1.00512	0.8219	68	8	14	16	106	87	2	0	0	1	4	3	4	3	114	93
37年目	H 24	1.00769	0.99865	1.00510	0.7903	69	8	14	16	107	84	2	0	0	1	4	3	4	3	114	90
38年目	H 25	1.00763	0.99865	1.00507	0.7599	69	8	14	16	107	81	2	0	0	1	4	3	4	3	115	87
39年目	H 26	1.00000	1.00000	1.00000	0.7307	70	8	14	16	108	79	2	0	0	1	4	3	4	3	115	84
合計(S50~H26)						1,671	193	440	524	2,829	4,049	59	2	17	39	116	176	90	127	3,036	4,352